



KANAGAWA

ともいき 大学連携プロジェクト



「ともに生きる社会かながわ」を実現するため、
学生の皆さんと一緒にいる取組を募集します！

▶ 令和6年度 募集締め切り

令和6年5月31日（金曜日）

▶ 応募方法

下記ホームページ掲載の県問合せフォームからご連絡ください。

検討している方も、まずはお気軽にお問合せください！！

問合せ先

神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室
TEL:045-210-4961 FAX:045-210-8854

HP：https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoiki_gakusei.html



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ



(二次元コード)

流れ・これまでの取組

春～夏 県の取組について出張説明＆相談



各学校の皆さんのもとに県職員がお伺いし、県の取組について経過や内容を分かりやすくご説明いたします。皆様のご希望に応じて、内容や時間も調整します。

各学校が自主的な取組を実施・取組サポート助言

【令和5年度に連携した学校の紹介】

鎌倉女子大学 佐藤ゼミ
共生社会をテーマにした人形劇、絵本の制作



「津久井やまゆり園」の利用者とながり、人形劇、絵本を制作し、学園祭などで憲章の普及啓発を行いました。制作した人形劇は県YouTubeに掲載しました。

相模女子大学 さがっば当事者研究会
障がい当事者青年たちとの発信活動



大学生と知的障がいや発達障がいをもち就労している若者による当事者研究会。将来教員を目指す大学生に向けて「当事者目線で知ってほしいこと」を考え、発信しました。

田園調布学園大学 小山・引馬・和ゼミ
障害福祉サービス事業所との交流



大学に隣接する障害福祉サービス事業所と交流を開始し、利用者の方と一緒に学園祭でカフェの出店や、畑での枝豆作りなどの活動を行いました。

神奈川工科大学 三枝亮研究室
障がいや高齢の福祉を目的とした活動の支援



ロボットやAIで共生社会の実現に向けて研究をする学生たちが、障がい当事者（難病ALS患者）の県共生社会アドバイザーと意見交換を行いました。

東洋大学LEAF
お友達プロジェクト（入所施設で暮らす方との交流）



県立津久井やまゆり園等の入所施設で暮らしている方の意思決定を促進する取組みとして、お友達のような関係、対等な関係としての交流を行いました。

【令和5年12月17日開催 共生社会実践セミナー】



12月頃 共生社会実践セミナーで実践発表（予定）

- 活動内容については各学校・学生の皆さんと相談しながら進めていきます。講義、ワークショップ、インタビュー、見学など様々な形を行うことができます。各取組について、発表や成果を発揮する場の提供などについても相談に応じます。
- 応募にあたっては学校単位、ゼミ単位、サークル単位、有志でも可能です。
- 活動費の一部を県が負担します（詳細は応相談）
- 県の取組の出張説明＆相談は無償です。県の出張説明＆相談のみのご希望にも対応します。

ともに生きる

平成28年7月26日に県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」で、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、ともに生きる社会の実現を目指し、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。

県は令和5年4月に「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」が施行され、共生社会の実現に向けて取り組んでいます。